

KUMAMOTO

The Weekly Bulletin

GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

CREATE
LASTING
IMPACT2026～
2027年度
テーマ

R.I. 会長テーマ 「持続可能なインパクトを生み出そう」

R.I. 会長 オンラインカ・ハキーム・ババロラ

R.I. 2720 地区テーマ 「ロータリーが〇〇をつなぐ」 R.I. 2720 地区 ガバナー 延岡 研一

熊本 G.R.C. テーマ 「つなぎ、楽しみ、行動、奉仕しよう。」 熊本グリーンRC 会長 荒木 一之

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311■創立：平成元年2月22日 ■会長：荒木一之 ■幹事：山口悦史 ■会報担当：山口 翼
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1607回 [2026～2027 第3回]

令和 8 年 7 月 27 日

【例 会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

・「奉仕の理想」

友情の握手

会長スピーチ 荒木 一之 (会長)

皆さんはゲームチェンジャーと聞くと何を思い浮かべますか？ AI でしょうか？自動車でしょうか？それともスマートフォンでしょうか？

いままで人類が始まってから多数のゲームチェンジャー即ち(時代、生活を変える出来事)があったと思います。今日はその中でも私の仕事に関する「時計」のゲームチェンジャーのお話をします。時計は13世紀にヨーロッパで誕生しました。それまでは人類は太陽の動きで時間を測っていました。15世紀にゼンマイが発明され小型化が進み、懐中時計が誕生しました。19世紀までは懐中時計が主流で紳士は懐中時計を持つことがステータスとなりました。第一次大戦では戦場で懐中時計を取り出すのが不便であったので懐中時計を皮ベルトで腕に装着されるようになり、時間を瞬時に確認できる便利さで腕時計が主流になりました。さらに自動巻きの時計が発明されます。しばらく時計

は機械時計が当たり前でした。私のお店でも機械時計が並び、ゼンマイ式の掛け時計が並んでいた時代がありました。

1969年に日本からゲームチェンジャーが現れます。

セイコーのクォーツ時計アストロンです。最初は45万円でした。カローラが同じ金額で変えた時代です。それまで1日数秒から10数秒の誤差が一般的だったのが1ヶ月に15秒程度の誤差になり機械時計の何百倍から数千倍の精度になりました。さらに大量生産が可能になり価格が大幅に下落し、スイスの時計メーカーの多くが倒産しました。一時は日本のメーカーは破竹の勢いでクォーツ時計が主流になりカシオからデジタル時計も現れ、時間を表すものは普通にどこでも売られるものとなりました。そこで機械時計は別の価値を持つようになります。それは道具から工芸品、嗜好品や資産価値を持たれるようになりました。さらに近年はスマートウォッチの出現により健康管理などや通信機能を備えた新しい道具として扱われるようになりました。最近ではスマホで時間を見る方も増えましたが昔の懐中時計のような感じで出すのが面倒との事ですすぐ見られて自分のスタイルを主張するアクセサリとして時計が見直されてきているようです。時計は時代と共に役割を変えながら、今なお人々の生活に寄り添い続けています。私も時計に携わる者として、その魅力を多くの人に伝えていきたいと思います。興味がある方は是非お気軽に当店にお立ち寄りください。今回は時計のゲームチェンジャーのお話をしましたが次回は違う業界のゲームチェンジャーのお話もしてみたいと思います。

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

8/3 「会員増強クラブ・フォーラム」

8/10 定款第7条第1節に基づき例会取り止め

8/17 新入会員卓話 埴田翔輝 会員

8/24 会員増強 ★友人招待例会(卓話:肥後銀行の方予定 担当:田中慎二会員)

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

幹事報告 山口 悦史 (幹事)

①ガバナー名での偽メール事案について

複数の他地区でガバナー名の発信（アドレスは全く違う）で地区内クラブ事務局に偽メールが送られるという事案が発生しております。新しいライングループの作成を依頼し、QRコードを送ってほしいという内容です。文面が同じで、クラブ会長名でクラブ会員への偽メールも送られているようですので、QRコード等送信されませんようにご注意ください。

■その他のロータリー関係

① 2026～2027年度 熊本市域RC会員名簿作成について。

会社や自宅の住所や会社名、役職等に変更があった場合、又、名簿に掲載する写真を変えたい等がありましたら、2026年8月3日(月)までに事務局宛に届け出て下さい。

②「ポリオ根絶啓発事業 募金活動」協力をお願い

地区のローターアクトが合同で下通アーケードにてポリオ募金活動されますので参加協力をお願いします。

日時：2026年10月24日(土)12:00～15:00

※時間内の参加可能な時間のみでも可

場所：熊本・熊本市下通アーケード内

内容：ポリオ根絶のための募金活動、啓発物の配布

募集人数：100名程募集

締切：8月28日(金)

■例会変更

○熊本東RC：7月28日(火)の例会を「新入会員歓迎例会」(変更)

→変更後の場所と日時：同日 19:00～（於：ラソーラガーデン ダイニング）

○熊本東RC：8月25日(火)の例会を「葉月の夕べ」(菊水学園奉仕事業) (変更)

→変更後の場所と日時：同日 17:00～（於：菊水学園）

○熊本南RC：8月3日(月)の例会を「暑気払い例会 & 交換留学生歓迎例会」(変更)

→変更後の場所と日時：同日 18:30（於：ホテル日航）

※サイン受付なし

○熊本南RC：8月10日(月)と31日(月)の例会を(取止め) ※サイン受付なし

○熊本南RC：8月24日(月)の例会を「ガバナー公式訪問3RC合同例会」(変更)

→変更後の場所と日時：同日 12:30～（於：ホテル日航）※サイン受付なし

○熊本江南RC：8月12日(木)の例会を「定款に基づき」(取止め) ※サイン受付なし

○熊本江南RC：8月26日(水)の例会を「ガバナー公式訪問3RC合同例会」(変更)

→変更後の場所と日時：8月26日(水)18:30～（於：ワン・ステーションホテル熊本）

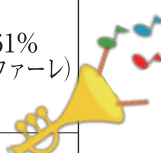
慶 事

荒木会長より山口翼直前会長へ直前会長バッジの贈呈



出席報告 埴田 翔輝 会員(クラブ管理運営委員)

	会 員 総 数	23名	出 席 率
7月27日	出席免除会員数	0名	63.64%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	14名	
6月15日	前回の出席会員数	18名	82.61% (ファンファーレ)
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	18名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・ 6／6 熊本西南 RC 創立50周年式典 山下会員			



委員会報告

①「新入会員歓迎会」のご案内

報告者：田代武クラブ管理運営委員長

②「ロータリーの友」7月号の内容紹介

報告者：田上裕章公共イメージ委員長



スマイル

嘉悦雅文 クラブ管理運営委員会(スマイル担当)

●荒木一之 君、山口悦史 君

「本日はIMについてのクラブフォーラムです。みなさんよろしくお願い致します。」

●山口悦史 君、田代 武 君

「先日、藤田前ガバナーより会員増強の目標達成のご褒美の高級寿司を田代会員とご馳走になって参りました。皆様のお陰です。ありがとうございます。来月に熊本で馬刺をお返しする予定です。」

●宮部康弘 君

「先日、初めて種ヶ島に行ってきました。久しぶりにデジタルデトックスが出来、リフレッシュ出来ました。次はロケット打ち上げの日に行きます。」

●河島一夫 君

「暑いですね。体に気を付けて下さい。弊社記念目録づくりすぎて持ってきました。御笑覧いただきお買い上げ下さい。この目録を見て熊日が取材に来た次第でした。皆さんの御健勝にスマイル。」

●野元知明 君、田上裕章 君 嘉悦雅文 君

「本日もよろしくお願い致します。」

3. プログラム

「I.M.についてのクラブフォーラム」

山下 佳介

熊本第3グループガバナー補佐



246. 都市連合会 Intercity Meeting = IM

会合・Meeting で表現しているように、本来は近隣都市間がクラブが集まって、親睦と情報教育と意見交換をする数種のロータリー会合のことを指す普通名詞としての用語。最近はこちらの一会合名としても用いられていることも多い。

都市連合ゼネラル・フォーラム Intercity General Forum (IGF) も厳密には IM の一会合である。IM への出席はメイクアップとなる。

245. 都市連合ゼネラル・フォーラム Intercity General Forum = IGF

1981 年までの手続要覧には都市連合ゼネラル・フォーラム (IGF) と訳され、ロータリー情報伝達の最善の機会として活用されてきたが、最近では Intercity Meeting (IM) の呼称で実施されているところが多い。

地区内を幾つかのクラブ集団に分けて、ロータリー情報および教育の手段として一般性格や計画について研究・討議する会合で、普通年度後半の午後か夜に開催され、儀礼的時間を含めて 5 時間が推奨された。

地区ガバナーから任命されたリーダーが部門別司会をし、参加クラブより提出された事項について意見を出し合い、討論をし、経験豊かなロータリアンのカウンセラーが助言をし、最後の全体討論では、RI 会長または地区ガバナーから選ばれた元 RI 役員のゼネラル・リーダーが概評をする方法が普通行なわれている。

(注)

情報教育の極めて有効な手段として 1949-50 年度 (日本 1 地区時代) に都市連合及びクラブ・ゼネラル・フォーラム (Intercity and Club General Forums : JCGF) が採択された。これは都市連合ゼネラル・フォーラム (IGF) とクラブ単位のクラブ・フォーラム (CF) を指す用語 (1981 年手続要覧 P.165)。

IGF は当初の頃、RI 会長指名のリーダー司会の下、近隣クラブ集団で行われていた。1957-58 年度 (日本 4 地区) より RI 会長指名のリーダーによる完全プログラム実施に足る出席が期待できないときは、ガバナーまたはガバナー指名の元役員が司会してきた。

日本・アジア地域では IGF の名称で開催され親しまれてきたが、他地域では IGF より IM の名称で実施されることが多いので、IGF は 1984 年版手続要覧以後記載されていない。

第 2720 地区でも 1990 年より都市連合会 Intercity Meeting (IM) の名のもとに開催されている。

これは IGF が廃止または変更されたものではなく、名称を広義の IM にしたということである。

© 熊本グリーンロータリークラブ発行「ロータリー情報集 11 版」より抜粋

4. 閉会・点鐘



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

315

2026年6月10日
発行

2 米山学友からの高額寄付「優秀な学生たちのために」

中国出身の米山学友で、東京赤坂RC会員の千葉鴻儀さん（1990-91／熊本グリーンRC）が、優秀な学生たちを支援したい、との思いから500万円の寄付をしてくださいました。そのメッセージをご紹介します。



【千葉鴻儀さん】

今回の寄付は、米山奨学会への恩返しです。経済的に困窮している時期に受ける奨学金が、苦学生にとっていかに大きな支えとなるのか、その重みは、経験した者にしか分かり得ないものと痛感しております。これまでも毎年100万円ほど寄付を続けてまいりま

したが、今回は、よりまとまった形でお役に立ちたいと考えました。中国のことわざ「受恩滴水、報恩湧泉（一滴の水の恩には湧き出る泉のごとく報いるべし）」という言葉がありますが、私は今、まさにそれを実践しております。母校である熊本学園大学にも、当時の指導教授の名を冠した奨学金を設立いたしました。志ある優秀な学生たちが、経済的な理由で夢を諦めることなく学び続けられるよう、少しでも力添えができれば幸いです。ロータリー会員の皆さまが持つ慈愛の心と人間愛が、これからも世の中に広く伝わっていくことを切に願っております。

© 2026年6月10日発行「ハイライトよねやま vol.315」より抜粋

1989年創立の熊本グリーンロータリークラブで最初の米山奨学生を受け入れた学生が当時、熊本商科大学大学院（商学科）に留学していた 黄 鴻（千葉 鴻儀）君でした（カウンセラー：奥村 敏之会員）。

黄 君は、2021、'22年に米山奨学生として応援していただいたお礼として当クラブの名前で100万円ずつ2度計200万円を米山奨学会に寄付されました。

2023年6月4日米山奨学会から寄付に対し当クラブに届いた感謝状をお渡ししました。



千葉さんと田中慎二'22-'23年度会長



千葉夫妻と当時を知る仙波夫妻